

(毎月10日・25日発行)

# 復興ニュース

号外 発行：NPO 法人夢ネット大船渡  
2014年 大船渡市盛町字内の目14-15  
5月20日 HP「夢ネット大船渡」と検索を  
メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

## 平成25年度事業報告 NPO法人夢ネット大船渡 ご支援・ご協力ありがとうございました



復興ニュース100号記念イベント最後の挨拶

夢ネット大船渡は、震災から3年目の平成25年度、被災者支援情報誌「復興ニュース」発行、仮設住宅での手芸講習・傾聴、県内外支援団体コーディネート、三陸鉄道盛駅舎利用や駅業務、パソコン教室や社会貢献活動入門講座等を行いました。

11月には「復興ニュース発行100号・三鉄盛駅ふれあい待合室オープン2周年記念事業」を行うことが出来ました。

これらの事業は、多くの皆様のご協力によるものであり、心から感謝を申し上げ、以下平成25年度の主な事業について報告いたします。

### ■ 仮設住宅の「生きがい支援」手芸講習継続

NPO 法人ジャパン・プラットフォームから助成を受けて、25年度も仮設住宅での手芸講習と被災者への傾聴訪問を行うことが出来ました。



三陸町 黒土田仮設

★手芸講習は130回開催しました ( )内は開催回数  
大船渡市 (70回) 大豆沢仮設 (11回)、長谷堂仮設 (11回)、平林仮設 (8回)、上平仮設 (1回)、崎浜仮設 (10回)、黒土田仮設 (2回)、鳥沢仮設 (9回)、大立仮設 (3回)、杉下仮設 (8回)、宮田仮設 (1回)、太田仮設 (6回) 陸前高田市 (54回) 滝の里仮設 (9回)、要谷仮設 (8回)、西和野仮設 (10回)、相川仮設 (11回) 柝ヶ沢仮設 (9回)、中和野仮設 (6回)、横田中仮設 (1回) 住田町 中上仮設 (6回)

### ★手芸講習種類 30種類

お薬手帳、ねこ、ふくろう、ポーチ、巾着、椿ブローチ、ネクタイによる巾着、芋虫ストラップ、スルメいか、タオルうさぎ、あでやか切り絵、ちりめんポーチ、ティッシュカバー、花瓶敷き、椿袋、アクリル毛糸でふくろう、松ボックリツリー、キルトで雪だるま、毛糸タオル掛け、ちりめんてぬい、親子亀、キューピー、ガマロ、バナロポーチ、七宝手毬、ネクタイでネックレス、コサージュ、指編み襟巻、おさるっこ、金魚ストラップ



相川仮設の手芸講習

### ◆ 1090世帯(平成25年度)を訪問し、多くの方々とお話をしました。

1ヶ月平均90世帯を訪問しました。①面倒を見てくれる予定の娘が津波で亡くし家族が怒りっぽくなってきている。②高台移転の説明を聞きに行ったがまだまだ先のことでガッカリした。③仕事から帰った時に灯りがついていなくても、一役になっていると思う。④近所へ料理を届けたり、近くの畑作業を手伝ったりしている等々、多くの高齢者の話しを聞きました。「今日話が出来てよかった」と喜ばれもしました。仮設から出てから住む住宅の不安も多く聞かれました。



## ■ 三陸鉄道盛駅舎利活用・駅業務の受託

平成 23 年 10 月から大船渡市の賑わい創生へ、三鉄盛駅舎利活用を岩手県から委託を受けて行いました。

平成 25 年 4 月 3 日から三鉄南リアス線盛駅から吉浜駅までの部分運行再開により、駅業務を三鉄株から委託され、ソフト面から三鉄盛駅業務が始まりました。

駅業務は、部分開通記念日に JR 盛駅内での「わかめシャブシャブ」を振る舞いスタートしました。

いかにしたら三鉄乗客を増やし、

三鉄の赤字解消に協力できるかを検討して、イベント列車や復興支援団体へ「貸切列車」の利用等を案内しました。

大船渡市の陸の玄関口として、職員一同三鉄や JR 利用者に気持ち良く接し、大船渡市を「気持ちよく温かいところ」との印象をお持ち頂くように努めました。

平成 25 年度の盛駅ふれあい待合室利用者は 42,382 人（1 日平均 116 人）でした。

### ★イベント列車運行 三陸鉄道乗客増に努力

毎月運行する歌声列車、駅弁列車、駅からウォーク、さらに「くずまきワイン」（11 月 8 日・9 日）、酔仙酒造の「日本酒列車」（1 月 24 日・25 日）、夏休みお楽しみ列車（6 回）、交流列車（1 回）、クリスマス列車（3 回）、お正月列車（3 回）、節分豆まき列車（1 回）等を行いました。

### ★被災者内職支援として手芸品販売

被災者の内職支援として、三鉄盛駅ふれあい待合室の手芸品販売へ出品している方々の会「こしゃる三陸」を結成し、コープあいちや高石市ボランティア会、佐久市出身者との交流等を行い、手芸品の販売支援に努力しました。さらにゴルフクラブカバー作製し販売へ繋ぎました。



## ■ 復興ニュース発行 100 号・三鉄盛駅ふれあい待合室オープン 2 周年記念イベント

11 月 9 日・大船渡市民文化会館リアスホール



平成 23 年 4 月 11 日創刊号（当初気仙市民復興連絡会が発行し、24 年 1 月から夢ネット大船渡が引き継ぎ発行継続）発行以来、中央共同募金会、日本 NPO センター、東北労働金庫、岩手県福祉基金等の助成や多くの寄付金を頂き発行し続けて来ました「復興ニュース」が、平成 25 年 10 月 25 日付けで 100 号を達成しました。

被災者を含めて皆でお祝いをしたいとの意図から、大船渡市民文化会館リアスホール（大ホール）で記念式典（復興ニュース配布ボランティアや夢ネット大船

渡への協力者への感謝状贈呈）と宮城県の劇団「ともえ座」（石川陵山座長）公演を核に、地元の満月会（佐藤満枝会主）、盛岡市の坂東流（桂木みゆきさん）、山形県民踊協会（鈴木豊喜与会長）の協力を頂き、絢爛豪華な踊りを披露しました。

会場ほぼ満員の約 1,000 人に来場いただきました。反省として事前の打合せなどスタッフを含めて出来なかったこと等、今後開催に当たっての課題が一杯ありました。

三鉄盛駅ふれあい待合室オープン 2 周年記念誌（300 部）を発行し、これまでの支援者へ発送しました。このイベント開催と復興ニュース発行経費に、岩手福祉基金から 30 万円の助成を受けました。

